

Hokuhoku RePort



「特集」海外進出支援編

海外へはばたく
皆さまをサポート！



「特集」農業支援編

アグリビジネス応援！



- 支店のある町
[富山市◎富山県][上磯郡 木古内町◎北海道]
- 駐在員レポート
ロシア極東の物流・経済を握る地、ウラジオストク
- ほくほくFGのCSR
地域活性化のための取り組み

[特集]

&

ほくほくフィナンシャルグループがバックアップ

海外進出支援 & 農業支援

地域とあなたのために、もっと。

「ほくほく」という名称は、北陸銀行、北海道銀行の頭文字「北」(ほく)を活かしつつ、温かみと親しみやすさを表現しています。

わたしたちは、この名のように地域のみなさまに親しまれ、愛される金融機関として

「地域とあなたのために、もっと。」を合言葉に、地域の特色にあった、お役にたてる金融サービスを提供していきます。

<p>02 [特集] ほくほくフィナンシャルグループがバックアップ 農業支援&海外進出支援</p> <p>03 [農業支援編] アグリビジネス応援!</p> <p>05 [海外進出支援編] 海外へはばたく皆さまをサポート!</p> <p>07 支店のある町 07 富山県 富山市 自然、食、景観、文化。 恵みあふれる富山には、心うるおう暮らしがあります。 北陸銀行 本店営業部、越前町支店、ギャラリー・ミレー</p> <p>09 北海道 上磯郡 木古内町 北海道のとある田舎町に今、 新たな歴史が刻まれる 北海道銀行 木古内支店</p> <p>11 駐在員レポート Vladivostok [ウラジオストク] ロシア極東の物流・経済を握る地で お取引先のビジネス展開をサポート 北海道銀行ウラジオストク駐在員事務所</p>	<p>13 ほくほくFGのCSR 地域活性化のための取り組み</p> <p>13 金融教育</p> <p>14 環境保全</p> <p>15 芸術文化・スポーツ振興</p> <p>15 地域密着活動</p> <p>16 CS向上への取り組み</p> <p>17 PICK UP NEWS</p> <p>19 業績ハイライト</p> <p>20 中期経営計画</p> <p>21 企業概要</p> <p>22 店舗ネットワーク</p>
--	---



取締役社長 庵 栄伸 (北陸銀行 頭取)
取締役副社長 笹原 晶博 (北海道銀行 頭取)

**ほくほくレポート
発刊に寄せて**

皆さまには、日頃より北陸銀行、北海道銀行をはじめ、ほくほくフィナンシャルグループをお引き立て賜り、誠にありがとうございます。

このたび、私どもの活動を「ほくほくレポート2015」としてまとめました。

当社グループの主要営業地域である北陸地域では「北陸新幹線」が開業し、北海道においては「北海道新幹線」の開業まで1年を切りました。この機会を活かすため、皆さまと地域活性化に取り組みとともに、充実した金融サービスの提供およびお取引先企業の経営支援に努めてまいります。

この冊子を通じて当社グループへのご理解が深まり、身近に感じていただければ幸いです。

今後とも変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

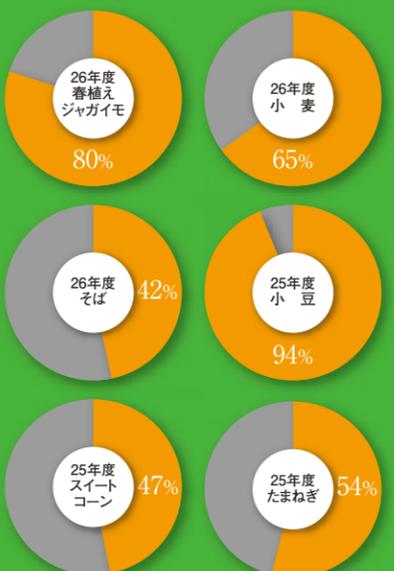
平成二十七年七月

農業支援編

アグリビジネス応援！

全国の耕地面積の約25%を占める北海道では、農業を基幹産業としています。北海道では、大規模で専門的な農業経営が多く、全国の農業産出額が減少傾向にある中でも、昭和59年以降、約1兆円の水準を維持しています。しかしながら、農家戸数の減少や農業従事者の高齢化、さらには食料・飼料製造業の付加価値率(27%)が都道府県別で最下位から5番目に低い水準にとどまっているといった課題もあります。(全国平均35%)このような中、北海道銀行では地域の基幹産業である農業の発展と地域経済の活性化に向けて、アグリビジネス支援に取り組んでいます。

〈北海道が生産量全国一位の作物〉
農林水産省「作物統計」より



TOPICS 1

地域金融機関として アグリビジネス支援体制

北海道銀行では、北海道農業をさらに発展させていくために、アグリビジネスのメインプレーヤーである農業者の皆さまをサポートする専門部署「アグリビジネス推進室」を平成21年に設置しました。

また、平成25年からは道内19カ店を「アグリビジネス推進基幹店」に指定し、推進責任者および推進担当者を任命しています。行内研修を通じて担当者スキルアップを図っており、現在、民間金融機関では全国最多となる47名の「農業経営アドバイザー」資格取得者(うち上級2名)がアグリビジネス推進に取り組んでいます。

また、J-GAP認証(農業生産管理工程管理手法)の活用を支援するため、



J-GAP指導員の資格を有している4名がお客さまをサポートしています。

TOPICS 2

地域産業の発展のために 農業経営者育成支援の取り組み

農業界では、担い手不足等を背景に農業経営の法人化が進んでおり、農業生産法人は地域農業の担い手としてますます重要になっています。地域農業発展のため、持続的で収益性の高い企業的な農業経営を実現するためには、経営者を育成することが必要です。

そこで、農業者の皆さまのステップアップ、後継者育成を通して北海道農業をサポートするため、平成23年から毎年「道銀農業経営塾」を開催しています。農閑期である12月〜2月に開催しており、経営戦略や財務、労務管理、農政など経営スキルを体系的に学べるカリキュラムを組み、各分野の専門家を講師に招いて行っています。



TOPICS 3

食のバリューチェーン構築に向けて 6次産業化・付加価値づくり支援

北海道の農産物をより付加価値の高い商品にするために農業と2次・3次産業の融合を図る6次産業化やマッチングを後押しするさまざまな商談会やセミナーを開催しています。

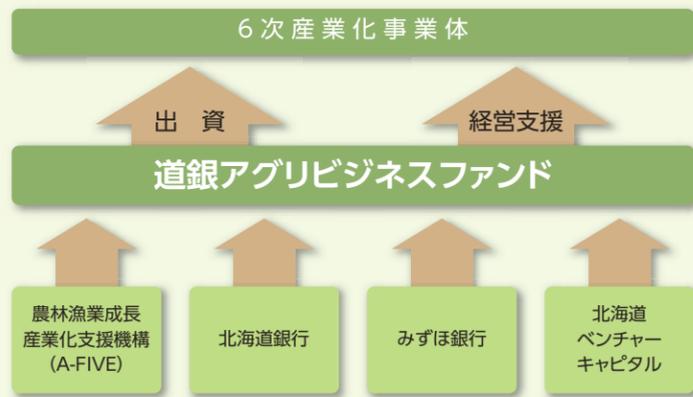
その一環として平成26年度は、北陸銀行、東北の地方銀行10行および北海道とともに6次産業化商談会を札幌と東京で行いました。この商談会では新商品の開発に至った事例もあります。

また、6次産業化の取り組みを支援するために組成した「道銀アグリビジネスファンド」を通じて、道産そばに製粉・加工販売力を融合させることで付加価値向上に取り組む「北海道そば製粉株式会社」への出資を決定しています。これにより、そば生産者は道産そばのブランド化と生産振興、製粉メーカーはバリューチェーン構築に取り組む体制を整えることができました。

北陸銀行でも平成27年3月に主に北陸三県で事業を営む農業法人を支援するため「ほくりくアグリ育成ファンド」を組成し、4月より取り扱いを開始しました。北陸では全国平均と比べ



- ファンド名称
道銀アグリビジネス投資事業有限責任組合(愛称:道銀アグリビジネスファンド)
- ファンド総額
30億円
- 組合員
株式会社北海道銀行
株式会社みずほ銀行
株式会社農林漁業成長産業化支援機構
北海道ベンチャーキャピタル株式会社
- 設立時期
2013年4月
- ファンド運用機関
15年間



商品名	特徴
アグリ・チャレンジ (運転資金)	期間は1年以内、融資金額最大1億円の当座貸越枠。
アグリ・チャレンジ (設備資金)	期間は最長20年、融資金額最大3億円の長期資金。
マインドゥ・アグリ	3,000万円を限度に短期1年以内、長期5年以内の小口融資商品。ビジネスローンプラザ専用。
アグリ・ワイド	日本政策金融公庫の損失補償付き、無担保無保証での借入が可能。期間1年以上7年以内の長期資金。

金融面からサポート！

農業関連商品

北海道銀行では、農業者の皆さまを金融面からサポートする商品を用意しています。効率的な経営を行うために資金使途に合わせて、最適なプランをご提示させていただきますので、お気軽にご相談ください。

海外進出支援編

海外へはばたく皆さまをサポート！

TOPICS 1

世界の経済エンジン、アジアへの進出をサポート

今、アジアでは人口増加が著しく、世界の経済成長エンジンはアジアと考えられています。そのようななか、当社グループでは、お取引先のニーズにお応えできる体制を整えるため海外行政機関や海外金融機関との連携ネットワークを広げています。

平成26年度には北陸銀行、北海道銀行が台湾の有力銀行グループである中国信託ホールディングと業務提携を結びました。これにより、台湾進出・進出予定のお取引先に対して台湾経済・投資環境などの情報提供や同グループ傘下の中国信託商業銀行を通じた金融サポートが可能となりました。

また、以前は「チャイナプラスワン」としてタイに進出する企業が多くありましたが、最近では「タイプラスワン」として

働集約的な工程をベトナムやインドネシア、インドなどに移す企業が増えています。これらの地域には北陸銀行がシンガポール駐在員事務所、バンコク駐在員事務所を構えているほか、カシコン銀行やベトナム銀行など提携銀行とのネットワークを構築しています。平成26年11月には、カシコン銀行主催の飲食料品や飲食関連機器、日用雑貨を扱う企業を対象としたビジネスマッチングに参加しました。北陸銀行、北海道銀行のお取引先から計11社が参加され、手ごたえを感じていただけました。



中国信託ホールディングと業務提携



カシコン銀行商談会

TOPICS 2

成熟したマーケット 欧州・アメリカへの進出支援

欧州進出には現地の法律・規制、商習慣などへの対応が必要不可欠です。北陸銀行では、現地で長年の実績を誇るトップクラスのアドバイザーとの人脈を活かし、お取引先に対して一般論に留まること

なく個別具体的に最適な解決策を提案しています。現地情報をお取引先に提供すること

で、一歩踏み込んだ提案も可能です。例えば、イギリスでは日本製品に対する評価

が高く、高品質な商品は販売価格が高くても適正価格とみなされ、消費者に受け入れられやすいという傾向があります。この点に注目したロンドン駐在員事務所は、平成25年6月にイギリスの食品スーパーと連携して、「ロンドン北陸物産展」を開催し、北陸地方のお取引先6社の27品目を出展・販売しました。売り上げが好調であっただけでなく、その後、継続的な取引引きが始まったお取引先もあります。

市場規模の大きさやビジネス環境の安定度から、アメリカ市場への進出を検討されるお取引先も多くあります。市場調査や会社設立に関する各種情報



が、平成26年5月に富山市と福井市で開催した相談会では、弁護士・公認会計士のほかに日中投資促進機構からも専門家を迎え、相談を承りました。慣れない外国でのビジネスには不安と悩みがつきませんが、ほくほくFGのネットワークを活用し、今後もお取引先の頼れるパートナーを目指して取り組んでいきます。



ロンドン北陸物産展チラシ

専門家による相談会開催！

中国でのビジネス展開 お悩み・ご不安…相談承ります

巨大マーケットである中国への進出には引き続き、高い関心をお持ちのお取引先が多くいらっしゃいます。日中間で発生する諸問題や昨今の円安・中国での人件費の上昇もあり現地のビジネスモデルの転換を考えるお取引先や悩みを抱えていらっしゃるお取引先もありません。北陸銀行ではそのようなお取引先を対象に毎年、相談会を開催しています。平成26年5月に富山市と福井市で開催した相談会では、弁護士・公認会計士のほかに日中投資促進機構からも専門家を迎え、相談を承りました。慣れない外国でのビジネスには不安と悩みがつきませんが、ほくほくFGのネットワークを活用し、今後もお取引先の頼れるパートナーを目指して取り組んでいきます。





支店のある町

富山市(富山県)



水深が1,000mに達する「神秘の海」富山湾から、3,000m級の山々まで、標高差4,000mの海と大地が織りなす豊かな自然に恵まれた富山市は、立山連峰を仰ぎ見る特等席です。

自然、食、景観、文化。
恵みあふれる富山には、
心うるおう暮らしがあります。



富山城のふもとを流れる松川では、遊覧船に乗り川辺の景色が楽しめます。春は満開の桜のトンネル、秋は紅葉と四季折々の風情が楽しめます。

立山黒部アルペンルート

富山市から長野県大町市まで、ケーブルカー、高原バス、ロープウェイなどを乗り継ぎ、北アルプスを貫く世界的山岳観光ルートです。美しいブナの原生林が広がる美女平、落差日本一の称名滝、高山植物が咲き誇る弥陀ヶ原、神秘的な湖のみくりが池(源泉かけ流しの温泉あり)、巨大な黒部ダムや黒部湖など大自然を堪能できます。全線開通する4月、高原道路の両脇に「雪の大谷」(室堂エリア)とよばれる高さ20mの巨大な雪の壁が現れます。「立山・雪の大谷ウォーク」イベントに参加すれば、間近でこの迫力が体験できます。



ちょっと足さなければ、一気に標高2,450mの別世界



北前船文化が色濃く残る港町へタイムスリップ

港町岩瀬

次世代型路面電車「ライトレール」に乗って「岩瀬」へ向かえば、国指定重要文化財の「北前船廻船問屋・森家」を始め、北前船で栄えた歴史的な町並みの散策が楽しめます。

協力/富山県・富山市観光協会



週末に散歩や食事をし、憩いのエリア



この夏には美術館もオープン。工房ではあこがれの吹きガラスに挑戦!



ガラスの街 富山

ガラスをテーマとした街づくりを推進している富山市では、街全体をひとつの大きな美術館に見立て、市の収蔵ガラス作品を市街地の既存施設や歩道に展示しています。富山ガラス工房では吹きガラス体験(要予約)も楽しめます。平成27年8月には市中心部にガラス美術館がオープンします。

旬の味覚を、心ゆくまで堪能!



富山湾鮭

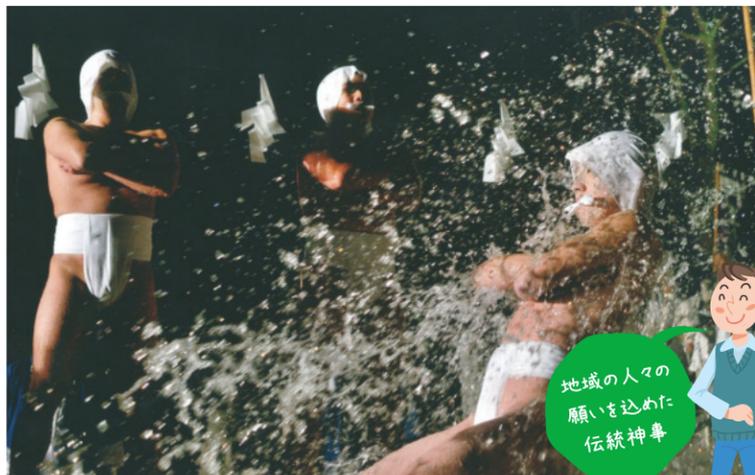
「世界で最も美しい湾クラブ」にも加盟している富山湾は、多彩な魚介が水揚げされるまさに「天然のいけす」で水産資源の宝庫です。鮮度抜群のネタと一粒一粒の形や味にこだわった富山米で握られた「富山湾鮭」は富山を訪れた人だけが味わえる贅沢です。季節によって魚種が変わり、いつ食べても新たな感動があります。

わが街 富山市と北陸銀行

富山市は富山県の中部に位置し、県の全面積の3分の1を占めています。環境モデル都市の指定を受けてコンパクトシティを目指した都市計画を進めています。明治12年2月、富山市で富山第百二十三国立銀行が設立され、明治17年1月金沢第十一国立銀行と合併しました。明治30年7月に十二銀行となり、高岡銀行、中越銀行、富山銀行との四行合併で、昭和18年7月に北陸銀行が誕生しました。富山市には、本店営業部をはじめ計42店舗があります。



ギャリリ・ミレー (平成24年9月1日開設) 越前町支店 (大正2年8月6日開設) (平成27年4月6日新築移転) 本店営業部 (明治12年2月1日開設) (平成25年12月有形文化財(建築物)に登録)



寒中みそぎ祭り

木古内町で毎年1月13日から15日まで行われる「寒中みそぎ祭り」は、天保2年(1831年)から続く伝統神事です。行修者と呼ばれる4名の若者が佐女川神社にこもり、何度も冷水をかぶって鍛錬を行い、最終日の15日には、厳寒の津軽海峡の中でご神体を潔め、1年の豊漁豊作を祈願します。

地域の人々の
願いを込めた
伝統神事



薬師山の芝桜

木古内市街の背にある標高80mほどの小高い山、薬師山の側面には芝桜が群生しています。深緑の5月には、一面ピンクに輝く大壁画を見ることができます。展望台のある山頂までは約15分で行くことができ、展望台からは津軽海峡が一望できます。



目前に
津軽海峡が広がる
ヒーリングスポット



協力/木古内町

支店のある町

上磯郡 木古内町(北海道)

北海道の とある田舎町に今、 新たな歴史が刻まれる

自然と歴史の融合する町、木古内
そんな町に今、希望の光「新幹線」の開業が目前に迫っている。
自然・文化・新たな歴史
これらが造りあげる世界に町民は心躍らせる。



開業イベントも
目白押しです！
ぜひお越しください

木古内町マスコットキャラクター
「キーコ」



北海道最初の新幹線駅・北海道新幹線木古内駅

平成27年度末に開業予定の北海道新幹線。その北海道最初の停車駅が木古内駅となります。開業によって、木古内駅から東京駅までは約4時間、仙台駅までは約2時間半で結ばれ、関東や東北方面がぐっと近くなります。新幹線開業に合わせて、特産品の販売やイベントスペースなどを兼ねた「木古内町観光交流センター みそぎの郷きこない」のオープンや季節ごとの町興しを企画しています。木古内町のマスコットキャラクター「キーコ」はJR北海道より「木古内駅新幹線観光駅長」に任命されており、日々、町内外でのPR活動に奔走しています。



恵み豊かな大地、北海道の幸を味わう！



はこだて和牛

木古内町の特産品である「はこだて和牛」は、別名「あか牛」と呼ばれている褐毛和種牛です。肉質がやわらかく上品な風味が特徴です。木古内町のマスコットキャラクター「キーコ」のモチーフにもなっています。

わが街 木古内町と北海道銀行

木古内町は、北海道最南端の渡島半島に位置しており、津軽海峡に面した北海道内でも温暖な地域です。人口5千人程の小さな町ですが、古くから本州との交流が活発であり、北海道発祥の地と言われていす。自然が育んだ畜産業と漁業が盛んであり、食の魅力にあふれる町です。平成27年度末に開業を予定している北海道新幹線最初の停車駅の町とあって道内外から注目を浴びています。

北海道銀行では、昭和29年に新規開設した木古内支店が営業しています。平成26年12月に新築移転し、道南杉を使用するなど街並みに合わせた木の温かみの感じられる店舗となっています。



木古内支店
(昭和29年2月15日開設)
(平成26年12月15日店舗リニューアル)



展望台からのぞむ金閣湾横断橋の夜景

ウラジオストクの今

平成24年にAPECが開催されたのを契機に、金閣湾横断橋とルースキー島連絡橋の2つの巨大な斜張橋や新国際空港の建設など多くの投資が行われ、大きな発展を遂げました。
冬でも凍結しない天然の港とヨーロッパ方面へ通じるシベリア鉄道のターミナル駅があり、物流の玄関口として今後も発展していくと考えられます。

ビジネスだけでなく、医療などへも広がる交流

平成26年6月に日本から50名を超える経済交流訪問団を迎え、「道銀ロシア極東ビジネス交流会 in ウラジオストク」を開催しました。マンションのモデルルームや医療関連の画像診断施設などの視察、セミナーや商談会などを行いました。日露双方間におけるビジネス展開の可能性について活発な意見交換が行われ、日露企業が相互に関心を高めました。
また、同年10月には、北海道大学病院がロシア極東地域との連携強化を目的として沿海地方、ハバロフスク地方、サハリン州を訪問しました。北大病院の最新医療施設・医療技術のプレゼンテーションや医療機関等の代表者と意見交換を行ったほか、ロシアの医科大学と医師や学生の相互交流を行うとした協力協定を締結しました。今後、北海道とロシア極東共通の課題について共に検討していくなど、関係はさらに発展していくと思われれます。

ウラジオストクのこれから

昨年プーチン大統領は年一度施策方針を示す年次教書でウラジオストク港に税制面での優遇などが認められる自由港の地位を与えるとの提案を行いました。現在法案などの策定作業が進められており、ロシア極東における物流・経済の中心としてウラジオストクの重要性がさらに増していくことが期待されます。



北海道大学病院による極東3地域訪問

北海道銀行 ウラジオストク駐在員事務所

ウラジオストク市オケアンスキー通り17番
フレッシュプラザ6階613号室
TEL : 7-4232-65-8851
FAX : 7-4232-65-8852
日本との時差 : +1時間



「ウラジオストク駐在員事務所のサポートについて」

ウラジオストク駐在員事務所は平成26年3月18日に開設されました。ウラジオストク市での駐在員事務所設立は本邦地方銀行初であり、北海道銀行にとってはユジノサハリンスクに続くロシアで2か所目の拠点となります。開設以来、たくさんのお客様が当地を訪問し、建設・農業・水産・観光などのさまざまな分野での交流が活発化しています。
今後も、当地での情報収集等を通じ、お取引先の皆さまを強力にサポートしてまいりますので、お気軽にお問い合わせください。



当事務所開設記念レセプションパーティー



事務所スタッフ

ロシア極東の物流・経済を握る地でお取引先のビジネス展開をサポート



ウラジオストク駐在員事務所 (北海道銀行)



Vladivostok

ウラジオストク市は、ロシア沿海地方の南部に位置し、日本から一番近いヨーロッパと表現されます。経済面では、ロシア連邦政府が極東地域への投資に積極的であることから、その中心都市として注目を集めています。

レポート：北海道銀行ウラジオストク駐在員事務所長

天間 幸生



ウラジオストク市街



環境保全

金融面からの取り組み

環境に配慮した企業活動を行うお取引先に対して金利等の条件を優遇することで、金融機関の本業である資金調達支援を通して地域社会の一員として環境保全に取り組んでいます。

● エコリードマスター

独自の環境評価格付に応じて金利が優遇される商品「エコリードマスター」を取り扱っています。平成26年度は燃費効率の良い車両への入れ替えや廃棄物のリサイクル量の増加に取り組んでいるお取引先など10先にご利用いただきました。

● エコ私募債

環境にかかる公的認証を得ている企業、北海道銀行のISO14001取得支援サービスをお申込みいただいている企業を対象に私募債の発行条件を優遇しています。平成26年度は307件の取り扱いがありました。

清掃活動や植樹活動などの取り組み

営業店のある各地域で清掃活動や植樹活動に積極的に参加し、環境保全および自然保護に努めています。また、社内でも一人ひとりができることから着手し、職場における日々の省エネやエコ活動を継続して行っています。

● 一斉おもてなし清掃

平成27年3月の北陸新幹線開業を前に、地域の皆さまとともに「おもてなし」を実践するため、富山県・石川県・長野県の支店を中心に「一斉おもてなし清掃」を実施しました。



● 大通公園を清掃

毎年、大通公園の近隣に勤務している職員でボランティア清掃を行っています。公園を気持ちよく利用していただくため、YOSAKOIソーラン祭りなど、大通公園でイベントを行う前後に清掃しています。



● 「桜ヶ池エコビレッジ桜満開プロジェクト」に参加

南砺市が取り組む「桜ヶ池エコビレッジ桜満開プロジェクト」に、新入行員約100名が社会貢献活動として参加し、清掃及び植樹活動を実施しました。



● 「道銀の森」で補植を実施

平成21年からの5年間、当別町にある「道銀の森」に1万本の植樹を行いました。平成26年度は、その後、枯れたり、動物に食べられたりした荒地に再度植樹する補植を「北ぐにの森づくりサークル」の皆さまと行いました。



地域活性化のための取り組み

ほくほくFGのCSR



金融教育

銀行を身近に感じてもらうために

普段、銀行とあまり接する機会のない子どもたちに「銀行ってこんなところ」ということを知ってもらうために銀行体験を継続して開催しています。

● 銀行体験を実施

北陸銀行東大通支店が中学生を受け入れ、窓口・融資・外国為替などの業務を体験していただきました。また、お取引先の工場や日本銀行金沢支店も見学させていただきました。

北海道銀行では冬休みを利用して小学生を対象に「親子で銀行体験」を9カ店で開催しました。金庫室の見学やお札の数え方などを学び、「銀行」を知っていただきました。



金融・経済に関する知識を深めてもらうために

学生に経済や金融についての知識を幅広く習得する機会を提供しています。

● エコノミクス甲子園

高校生にクイズを楽しみながら金融・経済に関する知識を習得してもらうとともにお金との関わり方やライフデザインを考えるきっかけとしてもらうことを目的に開催されています。

北陸銀行では富山大会・福井大会、北海道銀行では地元の信用金庫、信用組合とともに北海道大会地区予選および北海道大会の運営を行っています。



ほくほくFGのCS ～顧客満足度向上を目指して～

ミステリーショッパーによる店舗調査

北海道銀行では、外部評価機関のミステリーショッパー（覆面調査員）による店舗モニタリング調査を継続実施しています。この調査では、行員の接客・マナーや身だしなみ・店舗設備・ロビー状況について、お客さま目線でチェックを行っています。

この結果を基に、各営業店のサービスレベルを星の数で格付けし、お客さまに“見える”ようにしています。



認知症サポーター養成講座の実施

北陸銀行、北海道銀行では高齢化社会に対応するため、講師を招いて認知症サポーター養成講座を実施しています。講座ではロールプレイングを行い、実際の対応についても学びました。講座で学んだことを活かし、より一層お客さまに寄り添った接客を行います。



お客さまの笑顔のために CS向上への取り組み

Customer **S**atisfaction

顧客満足度

お客さまの預金を守ります！

北陸3県および北海道などの店舗では、警察と連携し、多額の現金の引き出し時に、「記名式線引預金小切手」を勧奨しています。お受け取り先は銀行のお取引先に限定されるため、不正行為の防止に役立ちます。



お客さまの声を聞かせてください

北陸銀行では、年1回「お客さまアンケート」を外部機関に委託し、実施しています。窓口対応、店舗・ロビー、駐車場などの項目についてお客さまのご意見をいただいています。北海道銀行では、店頭にお客さまからのご意見・ご要望をお寄せいただけるボックス「ボイス」を設置しています。

いただいたご意見・ご要望を真摯に受け止め、経営施策に反映させています。また、下記の方法でも随時ご意見を受け付けています。

これからもお客さまの満足度向上に努めます。

【インターネット】



- 北陸銀行
<http://www.hokugin.co.jp/>
- 北海道銀行
<http://www.hokkaidobank.co.jp/>

【お電話】



- 北陸銀行お客さま相談室
0120-794-322
- 北海道銀行お客様相談室
011-251-1336



お客さまアンケート



芸術文化・スポーツ振興

芸術文化

美しい絵画や音楽を身近に感じていただけるよう、店舗を利用したアートギャラリーの設置や音楽祭の開催等を支援しています。

●「第28回道銀ライラックコンサート」を開催

美しい音楽に気軽に触れてもらうこと、北海道の文化を身近に感じてもらうことを目的に、毎年「道銀ライラックコンサート」を開催しています。札幌コンサートホール「Kitara」にお客さまを招待し、オペラ団体のLCアルモーニカと札幌交響楽団によるクラシックの共演をお楽しみいただきました。



●「一番町スクエアビルアートプロムナード」を開設

北陸銀行越前町支店および西田地方出張所の新築オープンにあわせ、「一番町スクエアビルアートプロムナード」を開設しました。同スペースは、夜にはライトアップされ、より鮮やかな展示となり、街なかを美しく彩ります。



スポーツ

地元スポーツチームの支援やオフィシャルパートナーとしての活動を通して活気あふれる地域作りを応援しています。

●親子のフットサル教室

小学生までの児童を対象にフットサル教室を開催しました。北海道銀行がオフィシャルパートナーを務めているエスポラーダ北海道とタイアップして企画したもので、ドリブル・パス・シュートなどの基礎練習や親子対抗ゲームなどを参加者の方にお楽しみいただきました。



●北海道銀行フォルティウスの支援

北海道銀行がメインスポンサーを務める女子カーリングチーム「北海道銀行フォルティウス」が日本カーリング選手権大会で初優勝し、札幌で開催された世界女子カーリング選手権大会に日本代表として出場しました。



地域密着活動

地域の一員として皆さまとの交流を深め、元気なまちづくりに貢献できるよう積極的に地元のイベントに参加しています。

●「金沢百万石まつり」に参加

毎年6月に開催される「金沢百万石まつり」の百万石踊り流しに参加しています。平成26年度は金沢市内店や近郊支店から行員130人が参加しました。



●「さっぽろライラックまつり」に参加

大通公園で開催される「さっぽろライラックまつり」に例年協賛しています。ライラックは札幌市の市木であり、北海道銀行のバンクフラワーでもあることから「札幌市をライラックの花につつまれた美しい街に」との願いを込めて、昭和50年より苗木をプレゼントしています。



北銀 株式会社イトーヨーカ堂
「北陸フェア」への出展を支援

平成27年1月、地域企業の販路拡大および北陸・首都圏の橋渡しのため、株式会社イトーヨーカ堂「北陸フェア」への出展を希望するお取引先を対象とした個別商談会を開催しました。

当日は36社が参加し、新幹線開業を前に関心が高まる北陸の特産品を紹介しました。その中から10社が、3月に全国約150店舗で開催された「北陸フェア」に出展しました。



北銀 店舗リニューアルオープン続々と

北陸銀行では店舗リニューアルが続々と行われました。

26年8月 高岡南中央支店がオープン

高岡総合市場出張所とほくぎんローンプラザ高岡南中央(旧高岡南)が移転し、名称を高岡南支店から高岡南中央支店に変え、新たなスタートを切りました。今後の成長が見込める北陸新幹線・新高岡駅付近の高岡市南部地区の中核店としてこれからも地域社会の発展に貢献します。



26年11月 東富山出張所が新築移転オープン

富山県の基幹産業であるアルミを多用した先進的なデザインの店舗としました。また、お客さまスペースを約30%拡大、駐車スペースを30台としたほか、開放感のある吹き抜けなど利便性向上と心地よさを目指しました。

27年4月 越前町支店・西田地方出張所が移転オープン

新築の「一番町スクエアビル」に移転しました。LED照明や高効率の空調機器の設置など環境に配慮するとともに、バリアフリー化対応など心地よくご利用いただける店舗にしました。



PICK UP NEWS Hokuhoku FG

お客さまの身近に広がるネットワークや、利便性の高いサービス情報などをピックアップしてご紹介します!

道銀 「道銀教育カードローン」の取り扱いを開始

平成27年3月から「道銀教育カードローン」の取り扱いを始めました。ご卒業までのあらゆる教育関連資金を対象としたカードローン型の教育ローンです。「必要なときに必要な分だけATMでお借入」が可能で、最大1,000万円まで繰り返しご利用いただけます。お申し込みは銀行窓口のほか、インターネットや郵送、FAXでも可能であり、ご契約までご来店することなくお手続きいただけます。

道銀 「道銀・リフォームローン」の商品内容を拡充

お客さまの住宅リフォームのあらゆるニーズにお応えするため、商品内容を拡充し、ご融資金額の上限を500万円から1,000万円としました。

また、ヒートポンプ式給湯・暖房設備設置、ソーラーパネル設置などエコリフォーム関連工事を行う場合には金利優遇を行うなど、金融面から環境に対する取り組みを支援しています。

道銀 「道銀ロシアビジネス交流会」を開催

道内企業の極東ロシアへのビジネス拡大を目的にロシアビジネス交流会をウラジオストクと札幌で開催しました。

ウラジオストクでは、現地の日系企業やロシア企業の視察、参加企業によるプレゼンテーション、個別企業交流を通して北海道の魅力をアピールしました。

札幌では、ユジノサハリンスクとウラジオストクからロシア企業を招き、プレゼンテーションや個別商談会を行いました。また、道内企業の見学も行い、お互いに理解を深めることができました。



プレゼンテーション(ウラジオストク)



個別商談会(札幌)

北銀 親しみやすく、使いやすいホームページへ

平成27年2月にホームページを全面リニューアルしました。アイコンやタブ等を積極的に活用し、わかりやすいデザインへ刷新しました。公式Facebookページやオリジナルキャラクター“ほくまる”、“りくひめ”による解説などお客さまの利便性向上と情報発信力の強化を図りました。



北銀 道銀 北陸銀行・北海道銀行で商談会を開催

ほくほくフィナンシャルグループのネットワークを活かしてお取引先の海外進出や販路拡大を支援しています。

「ビジネスマッチング商談会 for ASIA」では、海外バイヤーだけでなく海外に販路を有する国内バイヤーを多く招き、商談成約後は国内取引で海外へ輸出できるようにしました。

また、両行に加え「東北・北海道地区交流促進地銀連携」を結んでいる東北10行と「北海道・東北・北陸ビジネスマッチング in 東京～6次産業化商談会～」を開催しました。首都圏を中心としたバイヤーとの個別商談や展示商談のほか、6次産業化を支援するための相談会も実施されました。



ビジネスマッチング商談会 for ASIA

出展企業数 …… 21社
バイヤー数 …… 13社
商談件数 …… 94件

北海道・東北・北陸
ビジネスマッチング in 東京
～6次産業化商談会～

出展企業数 …… 36社
バイヤー数 …… 17社
商談件数 …… 100件



道銀 個人向けインターネットバンキングの機能拡張

平成26年11月に個人インターネットバンキングの機能拡張を実施しました。道内金融機関初となる住宅ローンの一部繰上返済・金利再選択のネット受付を可能としたほか、スマートフォン専用画面での投資信託購入などの機能を追加しました。また、スマートフォンにおける操作性改善のため、より見やすいデザインへ変更しました。



中期経営計画

当社グループでは、平成25年4月からの3年間を「持続的な成長に向けた事業戦略の最適化に取り組む期間」と位置付け、中期経営計画“GO for IT!”をスタートさせております。従来から取り組んできた「営業力の強化」「経営の効率化」の経営施策をさらに推し進めるとともに、「経営基盤の強化」に取り組み、地域の信頼を得て地域活性化に資することを通じて企業価値を高めてまいります。

■ 計画の概要

名称	中期経営計画 “GO for IT!”
期間	3年間 (平成25年4月～28年3月)
位置付け	持続的な成長に向けた事業戦略の最適化に取り組む期間
目指すグループ像	地域から親しまれ、頼りにされる金融グループ
基本方針	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域のお客さまとのリレーション強化と内部態勢の強化・再構築により、変化する環境のなかで持続的に成長するための態勢を構築する。 2. 「営業力の強化」「経営の効率化」の施策をさらに推し進めるとともに、「経営基盤の強化」に取り組む。 3. 地域の信頼を得て地域活性化に資することを通じて企業価値を高める。

■ 計画の基本方針

施策の展開

営業力の強化	経営の効率化	経営基盤の強化
<ul style="list-style-type: none"> 顧客取引基盤の強化 コンサルティング営業の強化 広域グループの優位性発揮 個人取引マーケットの取組強化 有価証券運用の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 業務集約化・共同化の取組強化 共同利用システムのメリット追求 事務効率化、本部・営業店運営の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> パーゼルⅢに対応した資本の質の向上 資産の質の向上 企業再生支援の取組強化

内部態勢の強化・再構築

人財育成	経営資源の再配分	シナジー効果の加速
リスク管理態勢整備		コンプライアンス強化

■ 平成28年3月期目標とする計数(2行合算・連結)

	平成26年3月期(実績)	平成27年3月期(実績)	平成28年3月期(目標)
総預金平残	10兆1,292億円	10兆4,336億円	10兆1,100億円
貸出金平残	7兆3,440億円	7兆4,520億円	7兆4,800億円
コア業務純益	482億円	512億円	470億円
(連結)当期純利益	273億円	282億円	185億円
(連結)自己資本比率	12.31%	11.13%	10%以上
OHR(コア業務粗利益ベース)	66.08%	64.64%	67%
不良債権比率	2.67%	2.43%	2%台

※ 業績説明に使用している計数は、原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。

業績ハイライト

Hokuhoku Financial Group

営業の概況

(単位：億円)

<ほくほくフィナンシャルグループ連結>

	27年3月期	前期比
経常収益	1,939	+29
経常利益	481	△13
当期純利益	282	+9
自己資本比率	11.13%	△1.18%

当社における連結会計年度の業績につきましては、連結経常収益は前期比29億円増加の1,939億円となりました。経常利益は、株式等損益が増加しましたが、不良債権処理額の増加により前期比13億円減少の481億円となりました。当期純利益は、前期比9億円増加の282億円となりました。

<北陸銀行・北海道銀行>

	北陸銀行 27年3月期	前期比	北海道銀行 27年3月期	前期比
経常収益	940	△37	854	+52
コア業務粗利益	765	△5	683	+30
経費(臨時処理分を除く)	504	△1	431	△3
コア業務純益	260	△4	251	+33
与信費用	17	+60	42	+14
経常利益	245	△59	226	+45
当期純利益	146	△31	135	+38
自己資本比率	10.61%	△1.79%	10.75%	△0.01%

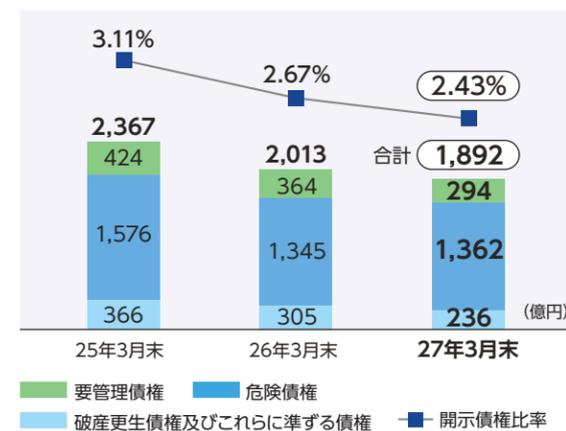
■ 預金(含む譲渡性預金)<2行合算>



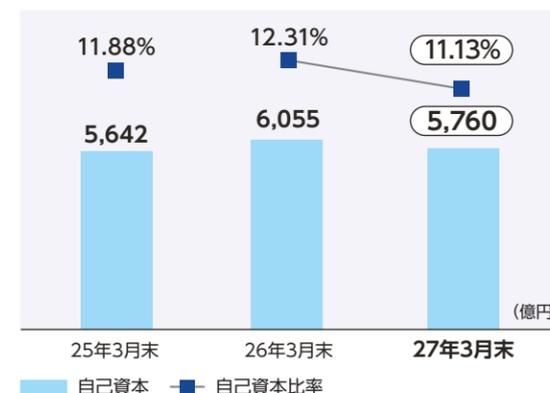
■ 貸出金<2行合算>



■ 金融再生法開示債権<2行合算>



■ 自己資本比率<FG連結>



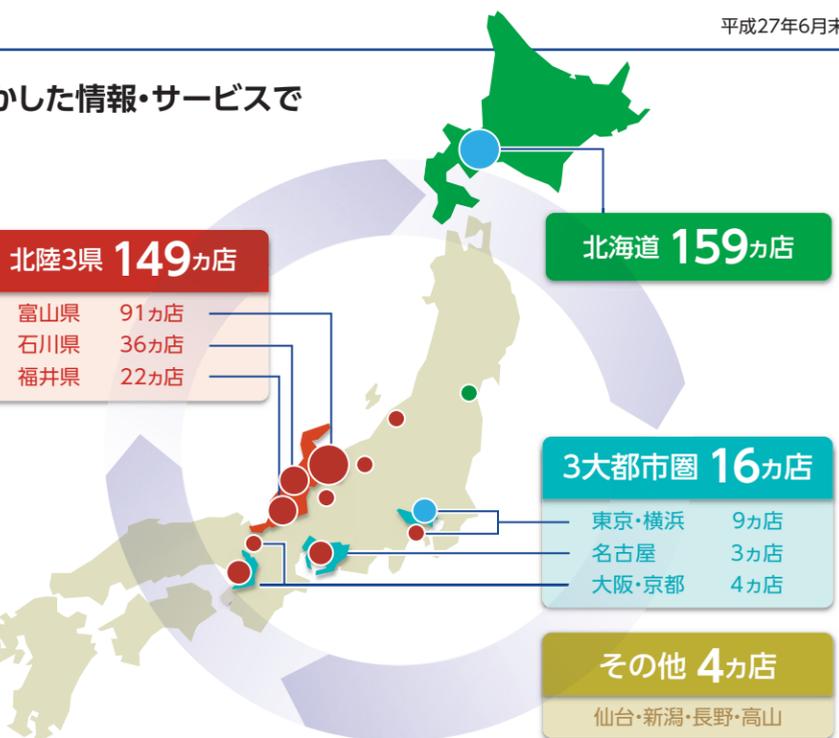
※ 25年3月末はパーゼルⅡベース、26年3月末以降はパーゼルⅢベースで算出しています。

店舗ネットワーク

平成27年6月末現在

広域ネットワークを活かした情報・サービスで お客さまをサポート

ほくほくフィナンシャルグループは、北陸三県および北海道を主要営業基盤とする広域金融グループとして、三大都市圏を含む情報ネットワークと総合金融サービス機能を活用し、地域のお客さまの繁栄に貢献していきます。



● 国内店舗数

北陸銀行 187 北海道銀行 141

328

店舗

グローバルネットワークで海外進出をバックアップ

グローバル化の進展により、ますます活発化するお取引先の皆さまの海外進出ニーズにお応えするため、当社グループでは海外ネットワークの充実に努めていきます。



企業概要

Hokuhoku Financial Group



設立日	平成15年9月26日
本店所在地	富山市堤町通り1丁目2番26号
事業目的	傘下子会社の経営管理、ならびにそれに付帯または関連する業務
資本金	708億9,500万円
上場取引所	東京証券取引所(第一部) 札幌証券取引所



設立日	昭和18年7月31日(創業明治10年)
本店所在地	富山市堤町通り1丁目2番26号
資本金	1,404億952万円



設立日	昭和26年3月5日
本店所在地	札幌市中央区大通西4丁目1番地
資本金	935億2,401万円

■ グループ企業

株式会社ほくほくフィナンシャルグループ

株式会社北陸銀行	
北銀ビジネスサービス株式会社	文書管理・事務集中処理業務等

株式会社北海道銀行	
道銀ビジネスサービス株式会社	文書管理・事務集中処理業務等
道銀カード株式会社	クレジットカード業務、信用保証業務
株式会社道銀地域総合研究所	経済調査業務、コンサルティング業務等

北銀リース株式会社	リース業務
-----------	-------

株式会社北陸カード	クレジットカード業務
-----------	------------

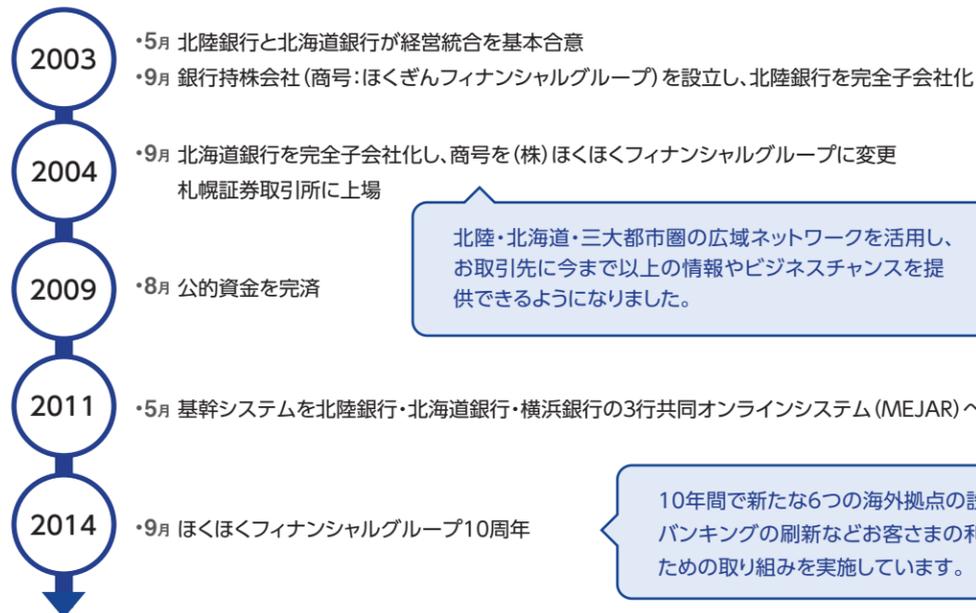
北陸保証サービス株式会社	信用保証業務
--------------	--------

北銀ソフトウェア株式会社	ソフトウェア業務
--------------	----------

ほくほく債権回収株式会社	サービサー業務
--------------	---------

ほくほくキャピタル株式会社	ベンチャーキャピタル業務
---------------	--------------

■ ほくほくFGのあゆみ



北陸・北海道・三大都市圏の広域ネットワークを活用し、お取引先に今まで以上の情報やビジネスチャンスを提供できるようになりました。

10年間で新たな6つの海外拠点の設立、インターネットバンキングの刷新などお客さまの利便性を向上させるための取り組みを実施しています。

地域とあなたのために、もっと。



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
〒930-8637 富山市堤町通り 1丁目2番26号
Tel:076-423-7331
<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

株式会社 北陸銀行 総合企画部広報CSR室
〒930-8637 富山市堤町通り 1丁目2番26号
Tel:076-423-7111
<http://www.hokugin.co.jp/>

株式会社 北海道銀行 経営企画部広報CSR室
〒060-8676 札幌市中央区大通西4丁目1番地
Tel:011-233-1005
<http://www.hokkaidobank.co.jp/>